



[展開方向Ⅲ]
北海道の特性を生かしたサイクルツーリズムの推進

雄大で豊かな自然や冷涼な気候など、北海道の地域特性を最大限に生かし、道内はもとより、国内外からのサイクリストの受入環境づくりを進めるなど、北海道の魅力を生かしたサイクルツーリズムの推進を図ります。



国内外のサイクリストの誘客、北海道の特性を生かしたサイクリング環境の創出



- ・健康志向の高まりや旅行ニーズの多様化など、国内外を問わず、サイクリングへの関心が高まっており、ナショナルサイクルルートへの指定をはじめ、全国各地で様々なサイクルツーリズムの取組が活発化
- ・台湾など、サイクリングが盛んな国をターゲットとして積極的なプロモーションを展開



- ・自治体、関係機関、民間事業者等が連携した拠点整備等の促進
- ・多彩で魅力的なルートをつなぐストレスの無い移動手段の確保
- ・北海道の雄大な自然を活用したトレイルの利用環境の整備
- ・北海道のサイクリングを安全で魅力あるコンテンツとして発信・提供できる人材の育成



- ・ルート協議会等の地域関係者が一体的に取り組む拠点整備等の推進
- ・サイクリストの利便性向上に向けた、公共交通機関との連携のあり方検討
- ・海外でも人気の高いマウンテンバイクなどを活用したトレイル利用の環境整備に向けた検討
- ・サイクリングガイドなどサイクルツーリズム推進を担う人材の育成・確保



自転車利用環境の整備の推進(再掲)



- ・北海道開発局と道が事務局となり、北海道サイクルルート連携協議会を設立
- ・8つのルート協議会（1団体調整中）によりモデルルートが位置付け



- ・魅力的なサイクルルートのさらなる整備及び磨き上げ
- ・北海道の魅力的なサイクルルートやトレイルなどの自転車利用環境に関する国内外に向けた情報発信強化



主な取組

- ・ルート協議会との連携によるナショナルサイクルルートを見据えた広域的なサイクルルートの検討・整備
- ・公共交通とレンタサイクル*21の活用など、自転車と他の交通手段を複合的に活用したサイクルルートの検討・整備
- ・案内標識*22や路面表示（矢羽根型）など安全・安心で快適な満足度の高いサイクリング環境づくりの推進及び普及啓発
- ・サイクリストが必要とする情報をストレス無く入手できる情報提供体制の検討・整備

国内はもとより、海外から訪れる多くのサイクリストが、「もっと楽しく」「もっと快適」にサイクリングすることができる北海道を実現

column

◆自然を楽しむマウンテンバイクダウンヒル&フロートレイル

サイクリングと観光を組み合わせた「サイクルツーリズム」は、地域活性化の新たな取組として全国各地で注目されており、道内市町村でも、様々なサイクルツーリズムが展開され、魅力的なサイクルルートが次々と生まれています。道路環境が整備されたオンロードでのサイクルツーリズムに加えて、大自然の中をマウンテンバイク（以下、MTB）で駆け巡る、オフロードを走る自転車の楽しみ方があるのを皆さんご存じですか？

アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態である「アドベンチャートラベル（以下、AT）*23」は、欧米豪の富裕層を主な顧客としており、その市場規模は約72兆円ともいわれています。さらに、顧客一人当たりの観光消費額は、一般的な観光客より多いとされています。こうしたことから、ATの振興を図ることで、ATの一つであるMTBを活用したツーリズムも、需要が高まることが期待されます。

道内においても、こうしたMTBを活用したアクティビティを楽しむことができる場所がいくつかあります。その1つが「ニセコグラン・ヒラフのMTBダウンヒル&フロートレイル」です。いずれも夏期のスキー場を有効利用したコースとなっており、MTBダウンヒルコースは、コース全長約3,000m&高低差474mの本格ダウンヒルコースです。サマーゴンドラでのぼり、マウンテンバイクで一気に駆け下りる！マウンテンバイク中上級者には魅力的なコースです。一方、フロートレイルコースはスキー場の斜面を利用した、穏やかなつづら折りのコースで、バンクやウェーブを流れるように走行でき、MTB初心者でも気軽に楽しむことができます！



こうした夏期のスキー場などを有効活用したマウンテンバイクパークのほか、ハイキングコースのように無料で利用できる「パブリックトレイル」やMTB用の児童公園の役割をもつ「スキルズパーク」の整備は、MTBファンをより増やしていくことにつながります。令和3年度には、ATワールドサミット*24が北海道で開催される予定となっています。北海道における自転車利活用の推進には、こうした自然の利活用という北海道の魅力を生かした取組も重要です。皆さんも、MTBで北海道の自然を体感してみては！！

こうした夏期のスキー場などを有効活用したマウンテンバイクパークのほか、ハイキングコースのように無料で利用できる「パブリックトレイル」やMTB用の児童公園の役割をもつ「スキルズパーク」の整備は、MTBファンをより増やしていくことにつながります。令和3年度には、ATワールドサミット*24が北海道で開催される予定となっています。北海道における自転車利活用の推進には、こうした自然の利活用という北海道の魅力を生かした取組も重要です。皆さんも、MTBで北海道の自然を体感してみては！！

ATワールドサミット*24が北海道で開催される予定となっています。北海道における自転車利活用の推進には、こうした自然の利活用という北海道の魅力を生かした取組も重要です。皆さんも、MTBで北海道の自然を体感してみては！！